

- 問1 東北地方の太平洋側では、6月から8月にかけてオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込み、気温が上がらず日照不足となることがあります。この地域の農業に大きな影響を与える風の名称を答えなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）
1. からっ風 2. やませ 3. 季節風 4. フェーン
- 問2 日本の地方区分と位置関係について、東北地方の南端に位置する福島県と陸地で隣接している2つの地方の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 中部地方と近畿地方 2. 関東地方と近畿地方 3. 北海道地方と関東地方 4. 関東地方と中部地方
- 問3 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東風が吹き込むことがあります。この風の名称と、それが農業に与える影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）
1. 風の名称はフェーン現象であり、急激な気温の上昇によって農作物を枯らす原因となる。 2. 風の名称は季節風であり、山脈を越えて日本海側に大量の雨や雪をもたらす原因となる。 3. 風の名称はやませであり、気温が上がらないことで稲の生育を妨げる冷害の原因となる。 4. 風の名称はからっ風であり、乾燥した空気が続くことで畑作物の成長を止める原因となる。
- 問4 日本の地方別の統計において、米の農業生産額が全国の約四分の一（25パーセント以上）を占め、全国で最も高い割合を示している東北地方の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
1. 都市への出荷に有利な立地を生かし、米よりも野菜や花の生産額が上回る近郊農業が中心となっている。 2. シラス台地が広がる地域を中心に、豚や鶏などの飼育が盛んな畜産中心の農業が展開されている。 3. 成長の早い米の品種を利用し、一年のうちに同じ土地で二回米を収穫する二期作が全域で行われている。 4. 庄内平野などの広大な平野において大規模な稲作が行われており、日本の穀倉地帯としての役割を果たしている。
- 問5 東北地方における各都市の気候の差異について述べた次の説明のうち、太平洋側に位置する仙台市の状況を正しく示しているものはどれですか。（2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて吹き下ろす際、乾燥した空気となるため、日本海側の地域に比べて冬の降水量が少なくなる。 2. 季節風の影響をほとんど受けない盆地特有の気候であり、夏は非常に高温になる一方、冬は氷点下まで冷え込み、降水量は年間を通して一定である。 3. 北からの寒流である親潮の影響を強く受け、一月の平均気温が零度を大きく下回り、夏も二十度を越えない日が続く。 4. 日本海を渡る湿った季節風が直接吹き込むため、一月の平均気温が零度前後となり、冬に大量の雪が降る。
- 問6 福島県は、東北地方、関東地方、中部地方という3つの異なる地方に属する県と境界を接しています。福島県が南側で境界を接している、関東地方に属する3つの県の正しい組み合わせを選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. 茨城県、栃木県、群馬県 2. 茨城県、栃木県、埼玉県 3. 栃木県、群馬県、新潟県 4. 千葉県、茨城県、栃木県
- 問7 東北地方の中央部を南北に貫く山脈の周辺には、地下の熱エネルギーを利用した発電所が複数立地しています。この地域で見られる山脈の名称と、行われている発電方式の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）
1. 奥羽山脈と水力発電 2. 奥羽山脈と地熱発電 3. 飛騨山脈と地熱発電 4. 飛騨山脈と火力発電
- 問8 冬季に降雪（降水）が多い南部の山々を源流とする河川が流れ、その周辺に平野が形成されている地域の自然環境と産業の関係について述べた次の文のうち、適切なものを選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 火山灰が降り積もってきた台地が広がっており、冷涼な気候を活かした乳牛の放牧が行われている。 2. 季節風によって運ばれた砂が海岸沿いに砂丘を形成しており、水はけの良さを活かしたメロン栽培が盛んである。 3. 河口付近に広大な三角州が形成されており、重化学工業を支える大規模な掘込港湾が整備されている。 4. 山地から運ばれた土砂が扇状地を形成しており、豊富な水が得られるため医薬品工場などが立地している。
- 問9 世界地図において北緯40度の緯線上を、朝鮮半島から東に向かって進んだ場合、中国の黄河を通過した次に現れる、日本の東北地方を南北に流れる一級河川の名前として正しいものを次の中から選びなさい。（2026年 広島県公立入試 類似）
1. 筑後川 2. 信濃川 3. 北上川 4. 石狩川
- 問10 東北地方の交通と地形について述べた次の文のうち、東北新幹線のルートの特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 日本海側の平野を結ぶルートであるため、最上川や信濃川といった日本最長クラスの河川を順に渡る。 2. 岩手県から青森県にかけては、火山が連なる山岳地帯を避けるために北上川の河口付近を走行する。 3. 福島県内では険しい山越えを避けるため、阿武隈川の支流である最上川の渓谷に沿って線路が敷かれている。 4. 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。
- 問11 東北地方の交通網と産業の関連について述べた次の文の空欄に、地理的な位置関係を踏まえてあてはまる県の組み合わせを選びなさい。「東北新幹線や東北自動車道の整備により、沿線にはIC（集積回路）などの工場が多く進出した。東京方面から進むと、新幹線は関東地方の（①）を通り、東北地方の南の玄関口である（②）へと入っていく。」（2017年 岡山県公立入試 類似）
1. ①栃木県 ②福島県 2. ①群馬県 ②福島県 3. ①埼玉県 ②山形県 4. ①栃木県 ②宮城県
- 問12 岩手県南部の沿岸で見られる、複雑に入り組んだ「リアス海岸」という地形的特徴を活かして、特に盛んに行われている活動はどれですか。（2019年 広島県公立入試 類似）
1. 大規模な干拓による稲作 2. 遠洋漁業の大型船専用のドック建設 3. 砂浜を利用した地引き網漁 4. かきやわかめの養殖
- 問13 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込み、稲の生育が妨げられることがあります。このような自然条件に対応するために行われてきた、農業の取り組みとして最も適切な説明はどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
1. 温暖な冬の気候を活かした「二毛作」を推進し、夏の収穫不足を補うために麦の栽培面積を拡大した。 2. 夏に吹く乾燥した季節風を利用して、水田から畑作へと大規模な転換を行い、ブランド野菜の生産に特化させた。 3. 「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味も優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。 4. 大規模な「干拓」によって農地を広げ、冷害の影響を分散させるために、品質よりも生産量を重視した安価な品種を増産した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 やませ	初夏から夏にかけて、オホーツク海から吹き出す冷涼な気団の影響で発生する北東の風を「やませ」と呼びます。この風が長期間吹き続けると、東北地方の太平洋側を中心に気温が上昇せず、日照時間も不足するため、農作物の生育が妨げられる原因となります。
問2	答え 4 関東地方と中部地方	福島県は、関東地方の茨城県・栃木県・群馬県および中部地方の新潟県と陸地で隣接しています。そのため、福島県と陸地で接している地方は関東地方と中部地方となります。
問3	答え 3 風の名称はやませであり、気温が上がらないことで稲の生育を妨げる冷害の原因となる。	オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な北東風は「やませ」と呼ばれます。この風が奥羽山脈の東側である太平洋側に吹き込むと、夏でも気温が上がらず、日照不足を引き起こします。その結果、主食である稲の生育が悪くなる「冷害」が発生し、東北地方の農業に大きな影響を及ぼしてきました。
問4	答え 4 庄内平野などの広大な平野において大規模な稲作が行われており、日本の穀倉地帯としての役割を果たしている。	東北地方は秋田平野、庄内平野、仙台平野といった広大な平野を有しており、これらを利用した大規模な米作りが盛んです。日本の食料基地（穀倉地帯）と呼ばれ、米の農業生産額において全国で圧倒的なシェアを誇っています。選択肢にある畜産中心の記述は九州地方、二期作はかつての高知県などの特色であり、東北地方は冷涼な気候のため一期作が一般的です。
問5	答え 1 冬の季節風が奥羽山脈を越えて吹き下ろす際、乾燥した空気となるため、日本海側の地域に比べて冬の降水量が少なくなる。	日本の冬は北西から季節風が吹きますが、東北地方の中央を走る奥羽山脈が壁の役割を果たします。湿った空気は日本海側に雪を降させた後、山脈を越えて太平洋側へ抜ける際には乾燥した風となります。このため、仙台市を含む太平洋側では冬の降水量が少なくなり、日照時間が長くなるという因果関係があります。これが、日本海側の秋田市などに対照的な雨温図の形を作る要因です。
問6	答え 1 茨城県、栃木県、群馬県	福島県は県境を接する県が6つと非常に多く、その範囲は複数の地方にわたっています。南側では、北関東に位置する茨城県、栃木県、群馬県の3県すべてと接しています。埼玉県は群馬県や栃木県の南にあるため福島県とは接しておらず、千葉県も茨城県のさらに南東に位置するため境界は持っていません。また、新潟県は接していますが中部地方の県です。
問7	答え 2 奥羽山脈と地熱発電	東北地方の「背骨」とも呼ばれる奥羽山脈は、多くの火山が連なる火山帯に位置しています。この火山活動による熱源を利用して、地中から取り出した蒸気や熱水でタービンを回す「地熱発電」が盛んに行われています。飛騨山脈は中部地方（日本アルプス）に位置する山脈であるため、東北地方の説明としては誤りです。
問8	答え 4 山地から運ばれた土砂が扇状地を形成しており、豊富な水が得られるため医薬品工場などが立地している。	宮城県南部などの山間部における冬季の降雪は、春以降の豊かな河川流量を支える水源となります。これらの河川が山地から平野へと流れ出る地点には、土砂が堆積して扇状地が形成されます。扇状地付近では、得られる豊富な水が工業用水として活用されており、特に高度な水処理や清潔な環境を必要とする医薬品製造などの産業がこの地域の特色となっています。
問9	答え 3 北上川	北緯40度線は、日本の東北地方（秋田県や岩手県）を横断しています。この緯線上をアジア大陸から東へ移動すると、中国の黄河を越えた次に日本列島の北上川と交差します。石狩川は北海道、信濃川は中部地方、筑後川は九州地方を流れる河川であり、北緯40度線とは交差しません。
問10	答え 4 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。	東北新幹線は、東北地方の中央を貫く奥羽山脈の東側（太平洋側）に位置する盆地をつないで建設されました。そのため、福島盆地を流れる阿武隈川や、北上盆地を流れる北上川など、太平洋へ注ぐ主要河川と密接に関係したルートとなっています。山形県を流れる最上川は奥羽山脈の西側を通るため、東北新幹線のルートからは外れます。
問11	答え 1 ①栃木県 ②福島県	東北新幹線は関東地方の北部に位置する栃木県を通過し、県境を越えて東北地方で最も南に位置する福島県へと繋がります。この高速交通網の整備によって、小型で軽量かつ付加価値の高いIC（集積回路）などを製造する工場が、高速道路のインターチェンジや新幹線駅の周辺に多く立地するようになりました。これを「シリコンロード」と呼ぶこともあります。
問12	答え 4 かきやわかめの養殖	リアス海岸は、山地が沈水してできた複雑な入り江を持つため、波が穏やかで養殖に適した環境を作り出しています。岩手県はこの地形を活かし、かきやわかめ、ほやなどの養殖業が全国的にも有名です。
問13	答え 3 「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味も優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。	東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹くことで、気温が上がらず作物が育たない冷害が度々発生してきました。これに対し、農業試験場などで寒さに強い品種の研究が進められた結果、「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」のように味も良く寒さにも強い品種が誕生しました。これらは「銘柄米」としてブランド化され、市場価値を高めることで地域農業の安定と発展に寄与しています。